

みる つくる
かたる

2004



VOL.31
NO.1 (通巻89号)

ART NEWS 千葉県立美術館

開館30周年記念企画展 一漁民を描く— 渡辺 學の世界

渡辺學(わたなべがく・1916-2000)は、銚子市出身の日本画家で、生涯のほとんどを故郷で過ごし、そこに生きる漁師やその家族を題材として、独自の造形世界を築きあげました。渡辺は、昭和11年(1936)、東京美術学校日本画科に入学し、同16年(1941)に卒業後、創造美術展、次いで新制作協会展、さらに創画会展を舞台に作品を発表しました。この間、毎日現代美術展や新鋭美術展で優秀賞を受賞し、日本画界の第一人者として活躍しました。また、本県にあっては、千葉県美術会の役員を歴任。本県美術界の指導的役割を果たし、美術文化の発展に大きな功績を残しました。

渡辺は、およそ60年間の作家活動で、確認できるだけで130点余りの作品を制作しました。今回は、そのうち約70点の作品により、画風の変化を示されるように時代を追って紹介します。初期の線描画の時代から次第に太い輪郭線に変化する過程や、メキシコ・マヤ遺跡研究の影響を受けて群青色に画面が変化する時期など、渡辺芸術の軌跡をたどることが出来ます。

また、作品と共に、デッサン、愛用の道具なども一堂に展覧し、渡辺の人と芸術を回顧します。

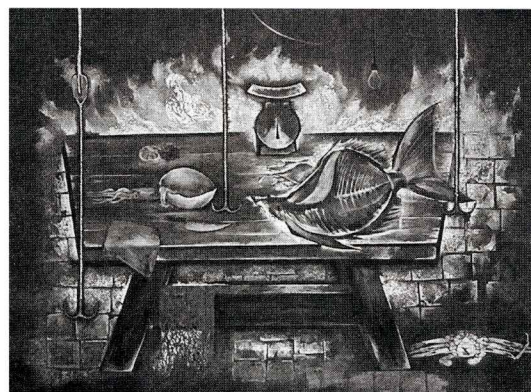
さらに、期間中様々な関連事業を通じて、制作の舞台となった銚子の文化や風土を紹介します。これにより、



渡辺學「暮れる日本橋」1938

「渡辺學の世界」をより具体的に、ご理解頂けることと
思います。会期や休館日などは、次の通りです。

- (1) 会 期 平成16年11月27日(土)～平成17年1月23日(日)
- (2) 開館時間 午前9時～午後4時30分
- (3) 休 館 日 月曜日(ただし、1月10日は開館し、翌日休館)
年末年始(平成16年12月26日～平成17年1月4日)
- (4) 入場料等 一 般 500円
高・大生 250円
小・中生 無 料



渡辺學「^{ハカ}衡のある部屋」

企 画 展 関連事業

花のパフォーマンス

草月流の8グループ44人が『UMI』と題して野外作品の展示を行います。企画展「一漁民を描く—渡辺學の世界」に関連し、海を主題とした企画で、美術館の敷地内に生け花のインスタレーションを展開します。なお、準備期間から制作過程も公開しますので御覧ください。会期は、準備期間が平成16年11月24日(水)～26日(金)。展示期間は、11月27日(土)～12月10日(金)です。

会場は、館庭の芝生ですので、野外彫刻などとともに御鑑賞ください。

渡辺學の芸術を育んだ“銚子の文化”を紹介！

本展がより魅力的なものになるよう、銚子市の協力を得ながら、関連展示「いいっぺ！銚子—銚子百選—」と関連事業「いいっぺ！銚子・まるごと“体感”」を開催し、渡辺學の芸術を育んだ銚子の文化・歴史・風土などを様々な角度から紹介します。

企画展 関連事業

「いいっぺ！ 銚子－銚子百選－」

銚子市世紀越え事業とは、公募により21世紀に残したい銚子の自然・文化・産業・歴史など様々なジャンルのものから100件選定されたものです。今回は、その百選を一部写真や資料、現物等もまじえて紹介します。新たな銚子の魅力を発見していただければと思います。

【会 期】企画展開催期間中に同時開催

【会 場】千葉県立美術館 第3展示室

企画展展覧会場内のため入場料が必要となります

「いいっぺ！ 銚子・まると “体感”」

銚子文化をまると “体感” できるスペシャルイベントです。銚子はね太鼓の生ライブ・銚子郷土研究家永澤謹吾氏による楽しいギャラリートーク・銚子名物ぬれせん焼き体験・祝旗下絵の実演・銚子食文化（銚子の魚）体験コーナー・海産物即売会など盛り沢山に銚子を堪能できる関連事業です。

【日 時】平成16年12月12日（日）

午前11時～午後3時

【会 場】千葉県立美術館内及び野外芝生広場

参加無料。但し、体験内容によって有料、または入場料が必要となります。

千葉県立美術館第5回ワークショップ

「銚子伝統体験・銚子ちぢみ藍染体験」

古くから銚子に伝わる伸び縮みするストレッチ素材の銚子ちぢみの藍染体験です。

【対 象】

こどもの部 5才～高校生まで（定員各30名程度）

大人の部 一般（定員30名程度）

【日 時】11月27日（土）

こどもの部 10：00～11：30 受付 9：45～

大人の部 13：30～15：00 受付13：15～

【会 場】千葉県立美術館 第2アトリエ

【参加費】

こどもの部 1,500円（保険料・材料費）

大人の部 2,000円（保険料・材料費）

【その他】小学生以下は原則として保護者同伴
事前申込みは電話で。

【協力先】銚子ちぢみ総本家 株式会社「大善」

TEL 043-242-8311 ワークショップ係まで

「ミュージアムコンサート」

【日 時】12月4日（土）14：00～15：30

【場 所】千葉県立美術館 講堂

【内 容】企画展に関連して、「海と自然に寄せて」というテーマで、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉による演奏を行います。

曲目は、第1部では「世界の海と自然に寄せて」を副テーマに、「美しく青きドナウ」などのクラシックの名曲から「スカボロ・フェア」などのポピュラーな曲を演奏します。第2部では「日本の海と自然に寄せて」を副テーマに、銚子ゆかりの曲「宵待草」などや海と自然に関わる名曲を演奏します。

【その他】当日先着200名（参加無料）

※ただし、企画展入場券の半券ないしは、コンサート入場券を提示していただきます。



開館30周年を迎えて 館長 米田 耕司

昭和49年（1974）10月23日に開館した千葉県立美術館は、30周年を迎えました。

いま開館当時を振り返ると、千葉港の中央地区は、現在のメインストリートにはマテバシイやネズミモチなどに混じってカイコウズの赤い花が咲き、周りは市役所まで建物もない広大な空き地でセイタカアワダチ草の黄色が広がり、空高くヒバリが鳴いていました。美術館の建設を契機に臨海公園計画が具体化し市民が海と親しむ公園を有するものに計画変更されました。その後、美術館利用者によるバス路線誘致の署名運動がおこり、それが現在のポートタワー行き路線です。JR京葉線やモノレールも近くまで来るようになりました。ポートパークも整備され美術館は港のシンボルとなりました。

今年は4月18日に開館以来の500万人目の入館者を迎えたのを皮切りに、現在開館30周年を記念するワークショップなどの学芸諸活動を年間を通じて展開しております。

展覧会では11月27日から1月23日まで開催する開館30年企画展「一漁民を描く一渡辺學の世界」は、開館以来の当館のモットーである「みる・かたる・つくる」という総合的な美術館活動を集大成する事業として開催

しています。

当館は、30数年前の公立美術館ブームの先駆けの、マラソンでいえばトップ集団の一員としての開館しました。近代美術館として、同時に房総をフィールドとする地域美術館としての視点から、房総というローカルな窓からナショナル、インターナショナルに連なる「房総と近代美術」を基本テーマにコレクションを形成して参りました。開館時は約70点であった美術作品も平成16年(2004)3月31日現在で2,156点に成長しました。この他に浅井忠のスケッチブックや書簡などの研究資料1,546件などの収集活動の成果が美術館活動の基礎を支えています。

これらは16年度に30周年を迎えるにあたり、「アート・コレクション展」として年間を通じて開催しています。沼田武名誉館長の助言を得て収蔵作品の中から代表的作品50点を選び、カラー図版を掲載し、学芸員が解説を加えた鑑賞の手引として『アートコレクション50』を刊行しました。この他にも多くの秀作を収蔵していますが、これらは、初代の松戸節三館長以下歴代館長と美術館員が、駅伝のように美術館活動を継続してきました総力の結晶だと思っています。そしてこの間、美術館を支え、御声援いただいた県民のみなさまへの報告書であり領収書だと思っています。これからも県民のみなさまに喜んでいただけるような愛される美術館となるべく努力して参ります。

最後に、これまで当館の美術館活動を御協力を賜りました関係各位に感謝の意を表しますとともに、今後40周年・50周年に向かってなお一層の御支援をお願い申し上げます。



開館当初の美術館全景

昭和49年度館報表紙より 撮影／ 沢本吉則

アートコレクション展

「光へのまなざし」

絵画の中で「光」は重要な表現効果となっています。光と影を意識して描いた画家、あるいは光そのものを追及した画家など、その用法は多様です。そこで、本展では、収蔵作品の中から「光」を感じさせる作品に焦点をあてて、画家がどのような眼で光をとらえ画面に反映させているかを紹介します。

光は物に当たり様々な色を反射しています。また、時間や温度等による大気の変化によってさまざまな色をつくりだします。トロワイヨンの「川辺の道」では、自然や動物たちを克明に観察し描く中に光の持つさまざまな表情が捉えられています。羊飼いや羊、馬を引く人物、橋に立つ人が逆光の中で描かれ、画面全体が光に包まれ、絵を見る者もその光に照らされているような臨場感があります。

実際に光がつくりだす明暗を表現するだけでなく、光そのものを表現した作品もあります。後藤純男の「山門雨後」は、南禅寺山門を描いていますが、金箔に群青で彩色された風景は、建物に後光がさしているようで幻想的で荘厳な雰囲気があります。門の堂々とした様子を描くだけでなく、寺院に生まれた作者の仏教に対する真摯な気持ちの現れのようにも感じられます。

今後の予定

「光へのまなざし」

平成17年1月29日(土)～4月10日(日)

「書の美」

平成17年1月29日(土)～3月27日(日)

「房総と近代美術②」

平成17年1月29日(土)～3月31日(木)

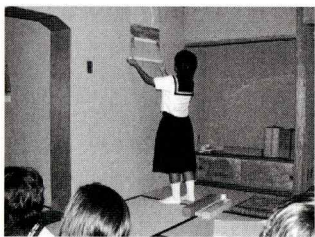
千葉県移動美術館

本展は、県立美術館所蔵作品を中心に今年の県展受賞作品の一部を展示し、県内市町村施設を会場に開催するものです。第28回を迎えた今年度は、佐原市中央公民館で開催しています。開催地となる佐原市は、北総の小江戸とも呼ばれ、香取神宮などの古社寺や古い町並みが残り、雄大な利根川や水郷などの豊かな自然にも近接しています。主な出品作家は、石橋武治、円城寺昇、小堀進、山本不二夫、大崎善生、柴田祐作、久保木彦、鈴木章、小林正利などの、佐原出身作家や、佐原周辺の風景を数多く描いた作家に加え、富取風堂、浅井忠、岸田劉生、香取秀真、津田信夫、高村光太郎、藤田喬平、浜口陽三、池田満寿夫など、国内外で活躍した作家を加え、36点を紹介しています。(12月5日(日)まで)

一日学芸員体験

新学習指導要領の趣旨に鑑み、本館と学校教育との連携を密にし、両者が一体となって児童及び生徒が、現在及び将来の生き方を考え行動する態度や能力を育成することができるための事業として実施いたします。

内容は、午前は美術館の役割や学芸員の仕事を理解するためのガイダンス、バックヤードを含めた館内施設見



学、そして野外彫刻の点検及び鑑賞。午後からは、実技Ⅰ・実技Ⅱとして、美術工芸品の壺、掛け軸の取り扱いと保管の仕方を行います。

第3回むじゃキック3(スリー)ディ

アート・コレクション「書的美」に関連したイベント『書ッキングな書・どう?』

【内 容】長くて大きな紙に、大切な人へのメッセージを書初め風に書きます。自作の風変わりな筆で大胆な書に挑戦します。書ッキングな書はどうで「書」!

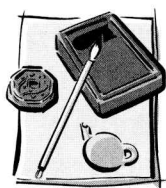
【対 象】小・中学生(参加無料)

【日 時】平成17年2月19日(土) 13時から15時
(受付当日12時半より)

【会 場】千葉県立美術館

第7展示室

【その他】当日先着20名程度。小学生以下は原則として保護者同伴(保護者の方は入場料が必要です。)



美術館講座

平成15年度から、博学融合の理念に基づき、千葉県立八街高等学校の設置する総合学科の授業の充実に協力するため、美術館と高校が相互連携して「美術館講座」を開設しました。4月から美術館の学芸職員7名が一年間をとおして、当該講座選択者15名の指導のため当該高校に出向いたり、生徒が美術館で実際の学芸員の仕事を体験したりします。

当講座の内容は、美術館の役割や使命、学芸員の仕事を学び、さらに理解を深めるために、実際に本館の収蔵作品の中から生徒個々が興味・関心のある作品を選定し、調査・研究を行い、情報の発信の仕方や美術工芸品の取り扱いを体験し、最後にその成果を発表する展覧会を開催するというものです。

【展覧会期日】1月15日(土)～1月16日(日)

【展覧会場所】千葉県立美術館 第6展示室

実技講座のご案内

版画講座

【内 容】木版画や銅版木の基礎的な技法を修得し、版画の持つ魅力を味わう講座。(10日間)

【日 程】1月27日(木)・28日(金)・29日(土)・2月3日(木)・4日(金)・5日(土)・8日(火)・10日(木)・11日(金)・12日(土)

【講 師】上田靖之氏

【定 員】20名

【費 用】1万4千円

篆刻講座

【内 容】基礎的な技法や用具の扱い方を修得し、篆刻の魅力を堪能する講座。(6日間)

【日 程】2月24日(木)・25日(金)・26日(土)・3月1日(火)・2日(水)・3日(木)

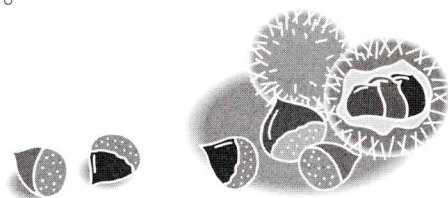
【講 師】細谷恵志氏

【定 員】20名

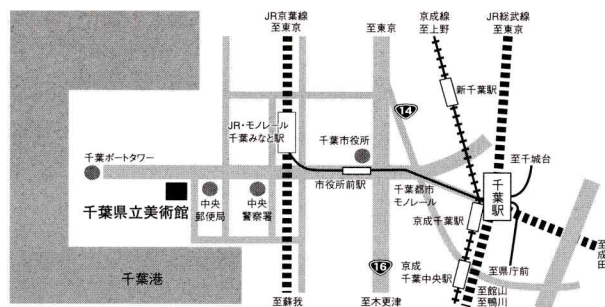
【費 用】1万円

《申込み方法》

往復葉書に講座名、住所、氏名、電話番号を記入の上、千葉県立美術館まで応募下さい。尚、応募多数の場合は抽選となります。



交通



JR京葉線・千葉都市モノレール 「千葉みなと駅」下車徒歩8分

JR総武線 「千葉駅」下車東口12番バスのりばから「千葉ポートタワー」行「県立美術館・中央郵便局」下車徒歩1分

〈東京方面から〉東関東自動車道「湾岸習志野」I.Cから約20分

〈成田方面から〉東関東自動車道「千葉北」I.Cから約25分

〒260-0024 千葉市中央区中央港1-10-1

電 話 043-242-8311

<http://www.chiba-muse.or.jp/ART/>